



戦国大名毛利氏の研究と広島県地域史の研究

人間文化学部 国際文化学科
教授 秋山 伸隆 (あきやま のぶたか)

連絡先 県立広島大学 広島キャンパス 1924号室
Tel 082-251-5178 (代表)
E-mail akiyama@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野： 日本中世史

キーワード： 戦国時代, 戦国大名, 毛利氏, 広島県, 地域史

● 現在の研究について

○日本中世史、とくに戦国大名毛利氏を中心に研究しています。毛利氏は、全国的に見ても質量ともに第一級の史料に恵まれていて、戦国大名研究、戦国時代史研究の絶好の素材です。

○これまでの研究成果は、秋山伸隆『戦国大名毛利氏の研究』（吉川弘文館、1998年）にまとめています。

○もう一つの研究の柱は、中世の広島県の地域史の研究です。中国山地や瀬戸内海も視野に入れて、政治・経済から文化まで、地域の歴史を掘り起こしていきたいと考えています。

● 今後進めていきたい研究について

○毛利元就の新しい伝記を書くための準備作業として、毛利元就文書の収集と研究、とりわけ元就自筆書状の研究と、合戦史の見直し作業を進めたいと思っています。

○毛利元就の長男隆元についても、最近は関心を深めています。2013年は毛利隆元没後450年にあたります。毛利隆元の再評価を試みたいと思います。

● 地域・社会と連携して進めたい内容

○過去の歴史を研究することは、直ちに現在の地域社会が抱える課題の解決に役立つものではありませんが、地域の歴史を振り返ることは、地域の現在を理解するためには必要な作業だと思います。

● これまでの連携実績

○これまで、『広島県史』『廿日市町史』『図説広島市史』などの編さんに関わってきました。現在は『山口県史』と『新・鳥取県史』の編さん事業に委員として参加しています。

○安芸高田市歴史民俗博物館、廿日市市宮島歴史民俗資料館の運営にも関わっています。図書館・公民館等の公開講座の講師等も、できるだけお引き受けするようにしています。